

# ふるさと創生総合戦略検証

～平成27年度から令和元年度までの振り返り～

★いま町に住んでいる親たちが誇りを持てば、子どもたちが「住みたい」といえる  
 ★いま、本町に住んでいる人も、本町出身者もUターンして「住みたい」といえる  
 ★本町を気にいって、今から移り住もつと考えている人が「住みたい」といえる

本戦略では、町民が一丸となって七ヶ宿に「住みたい運動」を広げて、町に住む誰もが幸福感や豊かさを実感できる、小さくても持続可能な「住み心地100点」のまちづくりを目指してきました。

## 4つの戦略プロジェクト

本町におけるふるさと創生の基本目標については、次に示す4つのプロジェクトで施策を組み立て一体的に推進し、個別

の地域課題の解決においては、関連する施策をパッケージ化し、これまでの地域活性化の障壁を突破できるよう集中的に取り組んで来ました。今回はその取り組みをプロジェクトごとに振り返ります。

◆雇用創出プロジェクト  
 ～働く場所を確保し、安定した雇用を創出する～

◆交流促進プロジェクト  
 ～七ヶ宿町への移住・定住の流れをつくる～

◆若者定住支援プロジェクト  
 ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

◆まちの魅力・活力プロジェクト  
 ～時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する～

## 5年間の振り返り

それぞれのプロジェクトには複数の事業が関連付けされ、全体で52の事業が実施されてきました。今回はプロジェクト単位で、どの程度目標が達成されたかを振り返ります。

### ◆雇用創出プロジェクト

雇用創出プロジェクトでは、売れる地域特産品の開発や森林再生による新事業の創出、道の駅、ダム周辺を拠点にした経済循環により、地域経済を活性化し、雇用を創出してきました。

数値目標	基準値	目標値	達成値
雇用機会の創出数	0人	46人	45人
創業支援数	2ヶ所	7ヶ所	10ヶ所

#### 【実施してきた施策】

- 食を活かした地域ブランド開発
- 森林再生による新事業の創出
- 道の駅、ダム周辺を拠点にした経済循環



### ◆交流促進プロジェクト

交流促進プロジェクトでは、山村文化研究の実践と活用や交流人口拡大に向けた拠点整備、及び営業力と情報発信力の強化により、観光入込客数を含む交流人口の拡大を図り、交流から移住へ、移住から定住への流れをつくってきました。

数値目標	基準値	目標値	達成値
観光入込客数	54万人	70万人	38万人
Uターン者数	0人	40人	69人

#### 【実施してきた施策】

- 七ヶ宿自然文化の再発見と活用
- 交流人口拡大に向けた拠点整備
- 七ヶ宿暮らし研究所の創設



### ◆若者定住支援プロジェクト

若者定住支援プロジェクトでは、便利で魅力ある定住環境の整備や子育て環境の充実、若者の出会い機会の拡充、若い世代が住みやすい環境整備を進めてきました。

数値目標	基準値	目標値	達成値
合計特殊出生率	1.36%	1.80%	1.39%
転出入増減数	-51人	-30人	3人
保育所児童数	20人	30人	35人

#### 【実施してきた施策】

- 便利で魅力ある定住環境の整備
- 子育て環境の充実
- 若者の出会い機会の拡充



### ◆まちの魅力・活力プロジェクト

まちの魅力・活力プロジェクトでは、安全で安心な地域社会の構築、暮らしの応援体制の整備、及び元気な地域づくりを推進してきました。

数値目標	基準値	目標値	達成値
自治組織数	7地区	7地区	7地区
内発的な起業数	0件	1件	1件

#### 【実施してきた施策】

- 安全で安心な地域社会の構築
- 暮らし応援体制の整備
- 自立的な地域づくりの推進



プロジェクト単位で見ますと概ね目標値は達成しているように見えますが、個別事業ごとに見てみると、目標値には届かない事業が多くあります。第2期ふるさと創生総合戦略で掲げた【小さくても持続可能なまち】～豊かさと幸せを実感できる住み心地100点のまち～を目指し、第1期の反省や改善すべき事項を整理し、目標達成につなげていきます。